

# 標十五句

松岡隆子選

満目の冬日の中の仏たち  
手袋をきつちり嵌めてよりの黙  
一山の十一月の風の音  
音たてぬ蜘蛛のゐずまひ秋の昼  
唐突に人の死木の実降り止まず  
水際の瘦せて落葉の寄るばかり  
まばたきに始まる遠目炸散る  
突堤の端の端まで冬ぬくし  
またもとのベンチに戻り秋惜しむ  
念入りに被る冬帽週はじめ  
冬草の冬草として青々と  
朝より辺り払ひて百舌高音  
物語閉づれば時雨来てをりぬ  
風強き日はことごと大根煮て  
五臓六腑休まず勤労感謝の日

佐藤郭子  
松原ふみ子  
下平直子  
川上昌子  
宮尾直美  
渡辺あつ子  
峰岸よし子  
濱地恵理子  
鶴見静枝  
染谷晴子  
小山陽子  
一ノ瀬正喜  
田幡栄子  
中島紀子  
珍田千代子